



創立 1993年12月1日
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500
 ホテル日航成田
 TEL/FAXL 0476-24-5044
 例会場 ホテル日航成田内
 TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2022～2023年度 国際ロータリー会長のテーマ
 イマジン ロータリー

【会長 ジェニファーE. ジョーンズ】

成田コスモポリタンRCターゲット
 「みんなでつくろう！ “楽しいクラブ・元気なクラブ”」

〔会長：神谷 修一〕

第1368回例会

令和4年11月9日（水）

《 ガバナー公式訪問例会 》



- ◇ 点 鐘 神谷 修一 会長
- ◇ ロータリーソング 我等の生業
- ◇ 四つのテストの歌

◇ お客様紹介 国際ロータリー第2790地区 2022-23年度

ガバナー 小倉 純夫 様

第10グループ ガバナー補佐 林 康博 様



地区幹事（松戸RC）大原 哲也 様・岩瀬 朋彦 様



◇ ニコニコBOX

・神谷 修一 会長

《小倉純夫ガバナー 本日は宜しくお願ひいたします。》

・藤崎 政弘 会員

《小倉ガバナーお越しいただき有難うございます。本日は宜しくお願ひ申し上げます。》

・村島 義則 会員

《秋の叙勲において瑞宝双光章の榮に浴しました。これも皆様方のご指導のおかげです。ありがとうございました。》

・高木 正尊 会員

《本日、小倉純夫地区ガバナー公式訪問例会日が私の結婚記念日と重なり、大変うれしく思います。この深い関係性に感謝し、ニコニコさせていただきます。》

・萩原 康宏 会員

《先日、自転車で交通ルールを守らない走行をしてしまいました。今後この様なことがないように反省してニコニコします。》

・平野 伸一 会員

《小倉ガバナー、岩瀬先輩、大原先輩ありがとうございます。》

・石川 邦紘 会員

《成田修理工場が完成しました。》

◇ 会長挨拶 神谷 修一 会長



皆さんこんにちは。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。本日は松戸ロータリークラブ所属、国際ロータリー第2790地区小倉純夫ガバナーをお迎えしての公式訪問例会となります。小倉ガバナー、ようこそ成田コスモポリタンロータリークラブへお越し頂きありがとうございます。また、地区幹事の大原哲也様、同じく地区幹事の岩瀬朋彦様ようこそお出で頂きました。宜しくお願ひ致します。

また先程は役員懇談会ありがとうございました。第10グループ内ではトップを切っただけの公式訪問例会と言う事で、林ガバナー補佐にとってもご心配ではございましょうがどうぞ宜しくお願い致します。

小倉ガバナーにおかれましては9月に行われました、ポリオ根絶6クラブ合同例会に引き続き2回目の当例会場訪問になります。また、先月23日の成田空港で開催されました「世界ポリオデー啓蒙イベント」も入れますと3回目の成田訪問と言う事になります。何回もお越し頂き改めて深く感謝申し上げます。更にご多忙中にもかかわらず、12日の当クラブ創立30周年にもご出席頂けるこのこと、本当にありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

話はクラブの事になりますが、先週の5日土曜日に30周年記念特別例会（花火を見る会）が開催されました。ご参加頂いた会員の皆様、段取りを取って頂いた村島会員、急遽の例会にもかかわらず頑張って頂いた吉岡親睦委員長、本当にありがとうございました。とても素晴らしい花火でした。

来年も是非開催されます事を願っております。

そしてお祝い事ですが、この度、村島義則会員が秋の叙勲において、瑞宝双光章をご受章されました。誠にありがとうございます。長年の成田市の防災への多大な功績の賜と心よりお祝い申し上げます。少々思い出があるのでご紹介します。10年ほど前だと思いますが、クラブの親睦旅行が式年遷宮に合わせて伊勢神宮への「お伊勢まいり」でしたが、当時村島さんが消防団長をなさっていて、台風の接近による大雨の影響で土砂崩れが発生し民家が押し潰される被害に遭われたと言う事で、急遽旅行には行けなくなってしまいました。我々が本宮の参拝が終わった後、「おはらい町かおかげ横丁」で岩澤会員が「参拝終わりましたが村島先輩今どちらですか？」と電話しましたら、「民家の屋根の上だよ。みなさんは楽しんでくれよ。」と言う返事が返ってきました。みんなが「消防は大変だね」と言いながら「白鷹」を飲んでいた思い出があります。（大変失礼しました）

村島先輩におかれましてはご健康に留意され、今後とも我々後輩へのご指導を宜しくお願い致します。

さて戻りますが、本日の例会は小倉ガバナーに卓話を頂いた後、クラブ協議会として9/21の例会で青木戦略計画委員長にご説明頂いた長期戦略計画の問題点などをテーブルディスカッション形式で討論して頂き、確実な方向性を皆さんで共有して頂き、後日、戦略計画委員会よりクラブ戦略計画の決定、発表と言う形を取って頂きたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

本日は会員の皆様には通常の例会より1時間ほどオーバーしますが、貴重な例会でございますので、最後の記念撮影までご参加いただきますよう宜しくお願い致します。

纏まりませんが会長挨拶といたします。ありがとうございました。



◇ 委員会報告その他

◎ 地区 奨学生・学友委員会 藤崎 康人 委員長



先日の日曜日、千葉南 RC の「里山の集い」に参加してきました。米山記念奨学生のナウハル君も参加し、ナウハル君のご両親の実家があるインドネシアのバントンで、市原中央 RC でガバナーデジグネートの時田さんが、かつてグローバル補助金の事業をやられたことがわかり、こういうところから新たな国際交流ができるのではないかと思いますので、報告をいたします。

◇ 幹事報告

大竹 清治 幹事



■回 覧： 成田 RC、白井 RC、多古 RC

■例会案内・変更： 成田 RC、白井 RC、多古 RC

■その他： なし

◇ ガバナー卓話 国際ロータリー第 2790 地区 2022-23 年度ガバナー小倉 純夫 様



1. 本年度 RI テーマと地区活動方針について

・2022年度 RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏 (RI 初の女性会長) は、本年度テーマを IMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー) として、「より良い未来をイマジン (想像) し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！」

・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第 2 スローガンとする。ロータリーの基本は親睦 (fellowship) と奉仕 (service)

2. ガバナーの任務・役割について

・クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP、CLP の活用→クラブ、会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討 (ビジョンと行動計画)

・グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと

地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築

職業奉仕の大切さ (四つのテスト)、クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認

例会は心のオアシス (佐藤千寿氏)

・コロナ禍の中でのロータリー活動 (パンデミックの教訓)

2 年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず (第 7 波の到来)

→クラブ例会・行事等の中止 (又はオンライン化) →親睦奉仕活動の停滞、会員の減少

→最近の感染者激増→コロナとの共生 (会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

3. ロータリーの歴史を振り返る

・1905 年→親睦と相互扶助から出発 (一業種一会員制) →社会奉仕の考え→四 (五) 大奉仕へ

- ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まり（ロータリーの友6頁）
- ・ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」
「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方、セントルイス大会決議 23-24 ロータリーの奉仕の基本理念の確立

- ・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」

(Enter to Learn, Go forth to Serve)

例会（親睦）→出合い、交流（切磋琢磨）→人間としての成長＝信用→安定した経営の実践

- ・日本のロータリーは周回遅れか？（ガラパゴス化）

Vocational Service（職業奉仕）に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

4. ロータリーの変化とその対応

- ・2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める

- ・ロータリーのライオンズ化（団体寄付中心）I serve から We serve へ

- ・2016年の規定審議会→柔軟性の採用

{例会と出席}{会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる

- ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認

メイクアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ローターアクトクラブに RI 加盟を認める

- ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→RI の危機感（会員の嵩齢化，減少）→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？

RI と TRF の一体化→{いずれライオンズクラブとの合併か？・地域に応じた自治権、裁量権を認める方向？

5. これからのロータリーについて

- ・ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観（親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ）は不変

- ・ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI（多様性、公平性、包摂（生））の提唱

- ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確（北米の会員の急減が 実施の理由か）
2つのパイロット地区で実施（2022年4月規定審議会決議）

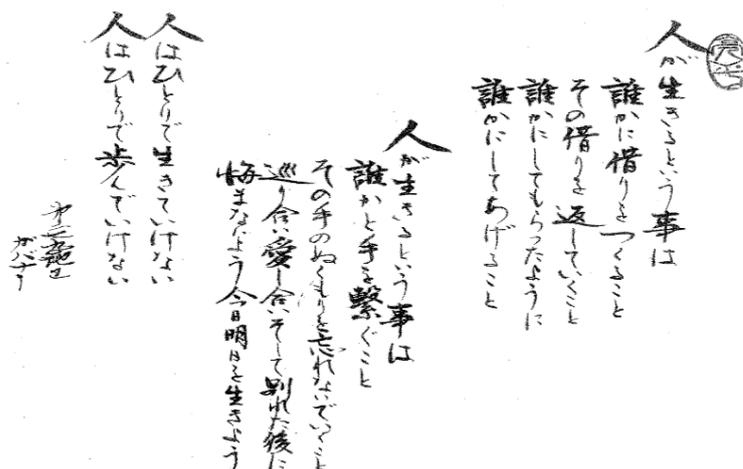
6. アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ，女性だけのクラブ，若者や老人だけのクラブ等

元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLP の活用

- 1、クラブの中期目標とその実現のための行動計画の策定（毎年の見直しとチェック）
- 2、会員同士の交流を深める（クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEI の浸透を図る）
- 3、会員の積極的参加を促す（例会、奉仕活動）財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 4、会員の増強（退会防止）若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- 5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- 6、IT の推進（コロナ禍での例会の在り方を再考する）

7. 最後に



【クラブ協議会 戦略計画委員会 青木 貞雄 委員長】



青木委員長よりクラブの戦略計画について説明のあと、小倉ガバナーにもご参加いただき、6つのクラブ協議会討議テーマをテーブルごとにグループ討議をし、検討したテーマについての結果を発表しました。



A グループ

女性会員1割を含めた会員拡大目標の達成に向けて
目標（100名、うち女性会員1割）の妥当性、及び達成戦略
藤崎 政弘 グループ長



時代の流れ、女性の社会進出が企業でも求められている。活躍している女性との接点は必要。女性の新しい感性を奉仕活動に取り入れていくことは必要。DEIの推進、多様性が求められている中で、クラブの発展の為に女性会員の入会は必要である。戦略としては、見学してもらうこと。女性に夜間例会や親睦例会に来て頂く、現在の会員全員で誘う機運を高めていく。リスト化、共有して紹介者を探っていく。全国的な企業の成田支店長を誘う、商工会議所青年部等と意見交換会をして誘っていく。

会をして誘っていく。



B グループ

クラブ委員会活動の充実
クラブの委員会活動充実に向けた施策
鳥海 直樹 グループ書記



会員の委員会の持ち回りを無理して行わなくても良いのではないかと。会員の特性を生かして、適材適所で配置することで出席率を上げることに繋がる。次年度委員会予算を前年度より柔軟に使用できるようにする。各委員会の交流会をどんどん開催し、活性化させる。プログラム、卓話の設営を各委員会に割り当てても良いのではないかと。

C グループ

地域に密着したクラブ独自の奉仕活動の開発・推進
クラブ独自奉仕活動の開発

山本 豊一 グループ長



この地区では成田空港周辺の清掃、印旛沼周辺の清掃を従来からやっている。過去には成田 IC 前の看板も。他のクラブの例を参考にして、市や教育委員会とタイアップして周辺学校への寄付や、フードバンクや子供食堂などへの協力も良いのではないかと。当クラブの存在価値も上がるのではないかと。



D グループ

会員研修の強化

会員のロータリー活動理解深化、及び活動への参画推進施策

高木 正尊 グループ長



入会時の認証式が終わった例会のあと、会長、幹事、関係委員長からのオリエンテーションを1時間程度行ったらどうか。ロータリークラブというものを理解して頂く機会になるということ。入会后2ヶ月から3ヶ月くらいに新入会員の歓迎会を開き、コミュニケーションをとってはどうか。例会や様々な研修への出席率の向上に繋がっていくのではないかと。



E グループ

親睦活動への理解推進と参加拡大

クラブ親睦活動への理解推進、及び家族参加型親睦活動の拡充

竹内 紀之 グループ長



当クラブでは比較的頻繁に親睦活動が行われている。お酒を飲まない方、ゴルフや野球をされない方も参加できるように、イベントを考えていく。先日の花火鑑賞の例会は良かったので今後も是非やってほしい。その他にも、相撲や落語を観るような例会、家族も含めた親睦例会を考えていく。



F グループ

例会の充実と出席したくなる例会の追求
出席率向上施策、及び例会プログラムの充実
城之内 利彦 グループ書記



卓話を充実させていく。委員会の活性化。月一回くらいに回数を増やし、委員長だけでなくメンバー全員が委員会としてまとまって例会に参加できるようになるのではないかと。出席率の向上には、各会員が相互に声を掛け合っていく。特に若い会員への声掛け。例会のプログラムも若い人達の意見を聞こうとなるようにしていく。



◇ ガバナー講評 小倉 純夫 ガバナー



大変熱心にご協議頂きありがとうございます。

DEIの推進、多様性、女性の意見やロータリー歴の長い人短い人いろいろな方の意見を出して、和気あいあいと例会を楽しむというのが理想的なクラブ運営だと思います。女性の意見を取り入れていくことでクラブの今後の活動の在り方も変わってくるのだらうと思いました。具体的な戦略については私も参考にさせて頂きたいと思っております。

委員会活動の充実というのがクラブの活性化の重要なポイントだと考えています。LINEを活用して情報交換しているところもあります。委員長だけが忙しいという現状を改善する為に情報共有は大事だと思います。

地域に密着した活動をしていく、地域のニーズを的確に把握するには、行政や学校等と連携して情報収集をしていくことで何を必要としているのかがわかると思いました。

新入会員にはメンターをつけてバックアップしてあげることが、ロータリーの活動を理解することにもなると思います。推薦者がしばらく面倒をみるような制度を作っても良いのかなと思っています。

例会の充実には卓話が欠かせませんが、会員が普段どんな仕事をしているのか具体的なことを卓話でお話しても一つの職業奉仕になると思います。お互いに知って信頼関係を結んでいければと思います。

出席率の向上には、例えば朝に例会をしてそれから仕事に行く、というのも若い方達には出席しやすく良いのかなと思います。

どこのクラブでも委員会活動の活性化にはどうしたらいいのかという問題があり、重要なテーマです。色々なご意見を伺えたのは大変貴重でございました。私もこれを参考に、他のクラブでもご紹介させて頂けたらと思います。本日はありがとうございました。

◇ 点 鐘 神谷 修一 会長

本日の料理



2022-23 年度 11 月理事会 議事録

1. 日 時： 令和 4 年 11 月 2 日（水） 13:30～

2. 場 所： ホテル日航成田

3. 審議事項

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| ① 新春講演会開催案内 | 1/14（土）参加者 会長・幹事・田中・長谷川 |
| ② ロータリー情報研修会開催の件 | 全員登録 承認 |
| ③ ガバナー公式訪問の件 | テーブル委員会ごとに再送する 承認 |
| ④ 環境保全奉仕活動企業推薦の件 | 担当 荻原 承認 |
| ⑤ 11 月 30 日 夜間例会の件 | マイステイズ 承認 |
| ⑥ 滝澤直樹会員の所属について（委員会及び 30 周年） | 承認 |
| ⑦ 花火を見る会について | 11/5（土）参加 19 名 マイカ Uシティ 16:00 集合 |
| ⑧ 23-24 年度財団ハンドブックアンケート | 補助金等の申請に活用しているで FAX する |
| ⑨ RYLA セミナー参加について | 担当 出山 社員氏名を記入し提出 青少年委員 奥村 |
| ⑨ 会員候補者推薦の件 | 市原氏 承認の回覧 異議申し立て 7 日間 |
| ⑩ その他 | 手続き要覧 申し込む（5 部位） |

4. 協議事項

